

ノズ
クテ
都ジ
大口

パーキング システム DX化を推進

独自の統合情報と連携

パーキングプラットフォームの大都テクノロジーズ(本社「東京都北区、木原哲社長」は、コインパーキング用次世代精算機やチケットレス駐車場「GCCゲート」の開発・製造・販売に注力している。キャッシュレスやゲートレスによる、利用者と運営会社にとってスムーズな駐車場運営を目指す。独自の統合プラットフォーム「CREVAS」と連携し、リアルタイムに売上げ・稼働を確認でき、だけでなく、フラップや領収書再発行などの遠隔操作で省人化を可能にした。今後も積極的に開発を進め、日本のパーキングシステムのDX化に貢献していく。

利用者・運営会社 ストレスフリーへ

プレートの文字・数字を含めたナンバー全桁を認識できる(木原社長は語る。

長。ナンバープレートの情報を瞬時に解析し、顧客のクラウド上にリアルタイムに反映させる。

統合プラットフォーム「CREVAS」は、クラウド上で運営会社に必要な情報をすべて反映させ、月の売上げ・稼働率も出し、利益拡大につながる。

「SLE機(コードネーム・ライム機)は2年前の販売開始以降、

チケットレス駐車場「GCCゲート」



年間1000台以上の販売実績を誇るが、今冬に「S機(コードネーム・レモン機)を発売し、さらなる事業拡大を目指す。S機

「S機(コードネーム・ライム機)は、現金の他、非接触クレジットカード、電子マネー、QRコードなどのあらゆる決済に対応するマルチ

端末機。キャッシュレスによる利用者の利便性向上だけでなく、運営会社の集金回数も軽減させる。

商業施設用に使用できる「GCCゲート」は、入出庫をスムーズにする「チケットレス・ゲート」システム、カメラ認証の為、車の入庫時にはそのまま入る

とができ、出庫の際は入庫情報と一致させることでスムーズに決済できる。キャッシュレス決済などにも対応し、稼働率を大幅に向上させ、心地よい導線も確保する。ある商業施設が「GCCゲート」をリアルタイムで導入した際は、ゲートでの順番待ちを解消し、高い評判を得た。都内の大型施設にも既に導入され、着実に普及を見せている。現在は商業施設がメインだが、製鉄所・工場向け・ビル中駐車場の車の出入管理の提案も視野に入れる。



コインパーキング用次世代精算機「S機(レモン機) 全体」とパネル部分拡大

「駐車場業界は、設備を提供する側の事情が長年優先され、アナログである事を強いられてきた。利用者、運

営会社、土地オーナーにストレスなく使用していた多くのがわれわれの使命だ。駐車場の

が、われわれはその削減を実現できる」と木原社長は語る。

同社の駐車場システムは、AIによる高い精度のカメラ認証を採用している為、不正駐車を防ぐことができ、暗闇でもナンバー